慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和三十七年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1963
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.2 (1963. 3) ,p.367- 370
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000002-0367

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶応義塾大学附属研究所

斯道文庫　昭和三十七年度彙報

本文庫名称の変更

六月十二日附を以て、「慶応義塾大学斯道文庫」の名称を、「慶応義塾大学附属研究所斯道文庫」と改めることになった。

文庫規程の一部改正

名称の変更に伴い、同日附を以て、文庫規程第一条が、

慶応義塾大学に慶応義塾大学附属研究所斯道文庫を置く。

と改正された。

人事

四月一日附を以て、尾崎康君（東洋史専攻）が助手に任命された。

十一月三十日を以て、文庫長松本芳夫君の任期が満了したが、再任に決定した。

文庫の日吉より三田への移転

従来文庫は仮に日吉校内旧寄宿舎南寮に設置されていたが、一昨年冬本塾図書館新書庫増築が竣工したので、その地下一階全部（約百三十坪）を文庫用に充てることになり、その一部を仕切って、研究室・事務室・閲覧室等を設け、他を書庫となした。大和運輸株式会社が移転運送を請負い、十月八日より日吉より三田への移転を開始し、同十日滞りなく、蔵書その他一切の移転を終了。直に蔵書の書架への排列その他の内部整頓作業を開始し、十月末に完了し、十一月一日より通常の業務を開始した。

文庫委員会

五月四日午後五時半より塾監局第一会議室に於て開き、文庫長より三十六年度後半期の文庫の近況、三十六年度予算の決算、三十七年度予算、三十六年度の研究成果を報告説明し、三十七年度の研究刊行計画、文庫の名称・規程の一部改正の件を審議した。会終了後、引き続き文庫員と懇談会を催し、七時半散会。

十一月二十九日午後四時半より、文庫長室に於て開き、文庫長より文庫近況を報告し、次いで、昭和三十八年度予算案図書閲覧及び図書複写規程を審議決定し、文庫長任期満了につき、後任文庫長の推薦を協議の結果、再任を決議して、五時半散会した。

図書閲覧及複写規程

十二月一日より、図書閲覧及複写規程を左の如く定めた。

図書閲覧規程

一、本塾教職員は本文庫蔵書を閲覧することができる。

一、本塾大学大学院及び学部の学生で閲覧を希望する者は、指導教授の紹介状を添え、所定の閲覧願を提出して、文庫長の許可を得なければならない。

一、塾外の研究者で閲覧を希望する者は

所属機関長の依頼書、またはしかるべき紹介状を添え、所定の閲覧願を提出し、文庫長の許可を得なければならない。

一、長期の閲覧者には、閲覧券(期限付)を交附し、閲覧の際はこれを提出することとする。

一、本文庫蔵書は、文庫外への帯出を禁ずる。

一、閲覧時間は本文庫が特に指定する場合の外は、本塾規定の執務時間内とする

図書複写規程

一、本文庫蔵書の複写を希望する者は、使用目的を明記した願書を提出し、文庫長の許可を受けなければならない。

一、複写は、原則として本文庫が行い、複写依頼者はその費用を負担するものとする。複写料金は別に定める。

一、貴重書・準貴重書に関しては、全巻或はそれに準ずる複写の際は、ネガフイルムは本文庫に寄贈し、その全文乃至はそれに近い飜刻又は紹介を発表した際は、原則としてその著論文を本文庫に寄贈することを要する。

一、複写依頼者は、願書に明記した目的以外にその複写物を使用してはならない。被複写本の著作権の問題については、複写依頼者がその責任を負うものとする。

研究調査

前年度に引き続き、左記の研究題目を中心として、調査研究と複本作成を進めた。

(1)我が国古典に関する室町以前成立の注釈書並に室町物語類

(担当者　松本芳夫・松本隆信・平沢五郎)

(2)室町以前の日本漢学資料

(A)邦人撰述漢詩文集類

(B)邦人撰述漢籍注釈書類

(C)日本現存漢籍古写本の綜合的研究

(担当者　阿部隆一・太田次男・尾崎康)

(1)に附属する「聖徳太子伝諸本の研究」(太田次男・松本隆信)について、昭和三十七年度前期の本塾学事振興資金の補助、(2)の(C)に附属する「帝範の本文校訂とその伝流訓点の研究」(阿部隆一)に対して、同じく後期の補助を受けた。

文庫員が本文庫研究題目に関聯して、本年度に於て公表せる研究成果は次の通りである。

松本芳夫　山片蟠桃の歴史観(「斯道文庫論集」二輯)

阿部隆一　天理図書館蔵奈良朝旧鈔古文孝経零巻について(「ビブリア」二十四号)　室町以前邦人撰述論語孟子注釈書考上(「斯道文庫論集」二輯)

太田次男　長安時代の柳宗元について(「斯道文庫論集」二輯)

松本隆信　本地物の問題点(「国語と国文学」昭和37年10月号)　御伽草子本の本文について(「斯道文庫論集」二輯)

平沢五郎　天理図書館蔵秋夜長物語(「ビブリア」二十二号)　秋夜長物語続—伝本解題並飜印三種—(「斯道文庫論集」二輯)

尾崎康　北魏における渤海高氏(「斯

道文庫論集」二輯）

調査出張

上記の研究課題に関する諸本の調査並に図書撮影は、東京都内及び近傍は、国立国会図書館・東京都立日比谷図書館・内閣文庫・尊経閣文庫・金沢文庫等に出張したが、主な地方出張をあげれば、

五月廿一日至廿三日　水戸市　彰考館文庫　阿部隆一・太田次男・松本隆信出張

漢籍古写本・邦人漢詩文集・聖徳太子伝類・室町物語等についての調査及複写撮影

六月五日至八日　足利市　足利学校遺蹟図書館　阿部隆一・尾崎康・井上善一朗出張

足利学校旧蔵漢籍古写本・邦人撰述漢籍注釈書・仏典仮名抄類の調査及複写撮影

十一月五日至七日　水戸市　彰考館文庫　松本隆信出張　太平記・平家物語真名本の調査及複写撮影

一月十八日至廿日　名古屋市　蓬左文庫　阿部隆一出張　論語類の調査及複写撮影

二月十日至廿三日　熊本市　細川家永青文庫・島原市　市立公民館松平文庫　阿部隆一・平沢五郎・山里石峰出張　永青文庫蔵細川幽斎自筆本を中心とする歌書類、八代市松井家蔵本、松平文庫蔵歌書その他の調査及複写撮影

三月廿九日・卅日　茨城県石下町西福寺　同新治村法雲寺　阿部隆一・太田次男出張　小田家文書・法雲寺文書の調査

図書・文献複写

卅八年三月卅一日現在、その整理を完了し、登録せる今卅七年度増加図書は、定期刊行物を除き、四七二部二四六四冊うち寄贈書は三六三部二一六七冊、累計図書冊数は七六七五一冊である。今年度の主な寄贈者の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

平岡好道殿　安川寛殿　故名取和作殿　松永安左衛門殿　鈴木諒爾殿　天理図書館殿　内閣文庫殿　大東急記念文庫殿　東洋文庫殿　金沢文庫殿　国学院大学殿　東大寺図書館殿　東京都立日比谷図書館殿　無窮会殿　井上書房殿　福岡大学研究所殿　蓬左文庫殿　京都大学人文科学研究所殿　楠本正継殿　細川護貞殿　中央大学国文学会殿

昭和卅七年度文部省私立大学研究設備助成金により、次の漢籍古写本類十二部五五冊（二百六拾八万円）を購入した。

毛詩正義序　明広年間写　（足利学校本系）　一冊

礼記　〔南北朝室町初間〕写　八冊

古文孝経　旧題漢孔安国伝　〔鎌倉〕写　一巻

同　永正十一年写　一冊

同　文安二年写　一冊

孝経直解　〔室町〕写　一冊

同　〔室町〕写　一冊

論語　魏何晏集解　〔室町〕写　一冊

孟子　漢趙岐注　〔南北朝室町初〕写　狩谷棭斎等旧蔵　五冊

同　〔室町末近世初間〕写　四冊

増刊校正王状元集註分類東坡先生詩
覆宋元刊　室町期の書入注甚だ周密
二五冊
菅家文草〔室町末近世初〕写　蓬左文
庫旧蔵　御譲本　五冊

マイクロフイルムによる副本作製は、主として前記の研究計画の課題に関する各文庫所蔵貴重本について行い、その全巻を撮影せる現蔵量は、三月卅一日現在整理登録を完了せるものを、被撮影本によって数えれば、本年度増加数は四四一部一〇二四冊、累計一三五二部三四七五冊、百呎ネガフイルム二〇〇巻・同ポジフイルム一〇一巻（百呎末満を除く）に達した。

この撮影については、本文庫の事業の趣旨に賛意を表され、貴重なる御所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、今年度の主な芳名を次に録して感謝の意を表する。

足利学校遺蹟図書館殿　彰考館文庫殿
国立国会図書館殿　内閣文庫殿　都立
日比谷図書館殿　金沢文庫殿　蓬左文
庫殿　横山氏赤木文庫殿　細川家永青
文庫殿　松井明之殿　小林真賛雄殿
島原市立公民館殿　河島又生殿

刊行事業

斯道文庫論集第二輯　三月卅日発行。
斯道文庫書誌叢刊之一
江戸時代書林出版書籍目録集成一
阿部隆一解説　阿部隆一・松本隆信・
平沢五郎校訂
十二月廿五日　東京　井上書房発行
A4判三一七頁　定価四千円
本書は全三巻、昭和卅八年度中に刊行
終了の予定。
斯道文庫書誌叢刊之二
室町時代物語類現存本簡明目録
松本隆信著
六月五日　東京　井上書房発行
A5判六七頁　定価二百円

斯道文庫論集　第一輯

目次　　松本芳夫
創刊の辞
本邦中世に於ける大学中庸の講誦
伝流について——学庸の古鈔本並に邦人撰述注釈書より見たる——　阿部隆一
韓愈についての一考察——特にその官人生活を中心として——　太田次男
室町時代物語類現存本簡明目録　松本隆信
秋乃夜長物語——伝本解題並びに飜印四種——　平沢五郎

昭和三十八年三月三十日発行
編輯兼発行者
東京都港区芝三田二の二
慶應義塾大学
附属研究所斯道文庫
定価一、〇〇〇円
東京都千代田区神田神保町一の七
一誠堂書店
東京都千代田区神田神保町二の七
元売発
山本書店
東京都千代田区平河町二の四
都道府県会館内
井上書房